

夢湧き夢に夢中

第12号

令和6年10月11日 文責：大谷

“夢を持ち 思いをつなげ”

♪拝啓この手紙、読んでいる あなたは♪
昼休み、校内のあちらこちらから聞こえてくる歌声と、少しづつ秋らしくなっていくそよ風に、日常の喧嘩から解き放たれていく自分に気づく。

うんざりするほど厳しかった残暑も、十月の訪れとともに確実にその身を潜め始め、どうやら今年も例外なく季節は秋を迎えつつあるようだ。そして、秋といえは芸術の秋。本校でも、いよいよ学習成果発表会と合唱コンクールに向けて、本格始動した。

今年度の学習成果発表会のテーマが、先日、生徒集会の折に図書・学習委員会の古庄副委員長から発表された。そして、このテーマに込めた思いを、全校生徒に力強く伝えてくれた。

【夢】は、今年の学校の目標であり、南中生が一つになるキーワードでもあります。まずテーマの冒頭に掲げられた「夢」について、その意図を話してくれた。嬉しかった。体育大会同様、その行事のテーマに「夢」というワードを掲げてくれたことに、心から嬉しく思えたとともに、改めて皆さんの夢の実現に向けて、自らを律しなければならぬということに自覚した。



We can do it!!

【思いをつなげ】は、歴代の先輩方の学習成果発表会への思いや、これから学習成果発表会に向けて準備する私達の思いなどを、これから先も繋いでいってほしいという考えからです。

ここにも今年度の生徒会テーマである「創造く未来へつなぐ 第一歩」とも通じた「つなぐ」というワードに、三年生を中心とした南阿蘇中生徒全員の高い思いを感じた。と同時に、過去から現在、そして未来といういわゆる縦軸の中でわたしたちは何をつないでいくかということ、自分と仲間がどうつながり、さらに人と人をどうつないでいくかという横軸のつなぎを、この行事を通じてどれだけ豊かなものにしていくかが問われているとも思った。さて、今年度の学習成果発表会で皆さんがどう「つなぐ」か。今から楽しみである。

テーマ発表は、最後にこう締めくくられた。
【We can do it!!】は、夢を持つことも思いを繋ぐことも、そして学習成果発表会を成功させることも、私達がみんなで一生涯命やれば出来る、という意味を込めて作りました」

今年世界で最も活躍した日本人と言えば、恐らく多くの人がこう答えるだろう。大谷翔平一と。彼は、今年歴史的な大記録を次から次へと塗り替え、名実ともに世界一のプレイヤーとなったが、なぜ人はこれほどまでに彼に熱狂するのか。打つだけではなく、投げたり、走ったりもできる凄い選手だから？ここぞという場面でみんなの期待に応えるホームランが打てるから？確かに大谷選手がプレーしている姿は、他の選手にはない独特なオーラがある。しかし、人々を魅了する神髄はそこだけではない。きっと彼が、まわりに臆することなく野球に真っ直ぐに「He can do it!!!」（一生懸命）だからだ。そんな姿に人々は憧れ、夢中になるのである。さあ我々も、ためらうことなく夢中になって「We can do it!!!」しようぜ！

■10月26日(土)に「みなみあそ元気フェスタあつまり〜ん祭(しゃい)」が白川小学校体育館をメイン会場に今年も開催されます。本校からは吹奏楽部によるステージ出演をはじめ書道等の生徒作品や学習成果物等の展示を行います。お誘い合わせのうえ、ぜひ会場にお越しください。